

社会学委員会
デジタルデータ及び社会調査・統計調査の活用に関する検討分科会
(第26期・第1回)
議事要旨

日時：令和6年3月5日(火) 13:00~15:20

会場：日本学術会議5階 5-C(1)会議室及び
オンライン会議システム併用のハイブリッド開催

出席者：青柳みどり、浅川達人、石井クンツ昌子、今田高俊、岩井紀子、遠藤薫、吉川徹
園田茂人、瀧川裕貴、玉野和志、筒井淳也、椿広計、埴淵知哉、村上あかね

欠席者：大谷信介

議 題 (1) 委員の確認

(2) 役員を選出 委員長：浅川達人
副委員長：瀧川裕貴
幹事：玉野和志 ・ 村上あかね

(3) 特任連携会員の推薦

- ・ 審議の上、笹原和俊氏(東京工業大学 環境・社会理工学院イノベーション科学系 准教授)を連携会員(特任)として推薦することを承認した。

(4) 26期分科会の進め方

- ・ 25期に「社会統計調査アーカイブ分科会」が作成をすすめた「報告社会統計・統計調査データの政策的な活用のために」を基に、本分科会で協議して、意思の発出を行うこと決め、「意思の表出の申出書」と「骨子案」を作成した。
- ・ 生成AIを含むデジタルデータの活用について、政府の方針を始め現状を把握し、問題点を検討し、ガイドラインの作成に取り組むことを決めた。

(5) コロナ禍以降の社会調査の実施方法の変更について紹介(岩井紀子)

European Social Survey

East Asian Social Survey：日本、韓国、中国、台湾

(6) 次回の分科会の開催時期

第2回分科会は、特任連携会員が就任する5月以降に開催